

# 改善箇所説明図



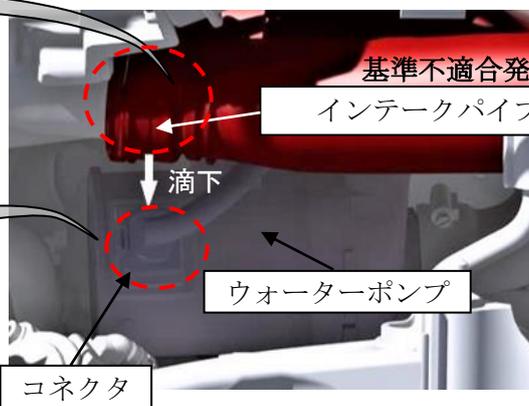
図：左ハンドル



インテークパイプシール



スプラッシュガードキャップ



注)  は、点検および必要に応じて交換する部品を示す。

注)  は、後付けする部品を示す。

## 不具合の内容

インテークパイプシールにおいて、設計検討が不十分なため、傷等によりインテークパイプ内に溜まったブローバイ凝縮液がインテークパイプとターボチャージャーの接続部から漏れた場合、ウォーターポンプのコネクタに滴下することがある。そのため、ウォーターポンプのコネクタ内の端子の腐食が進行し、最悪の場合、端子が短絡して異常過熱が発生し、火災に至るおそれがある。

## 改善の内容

全車両、インテークパイプのシールを点検し、傷等が認められた場合は交換する。  
また、ウォーターポンプ側とハーネス側のコネクタを点検し、状況に応じて清掃の実施、あるいは、ウォーターポンプ本体とハーネス側のコネクタを交換する。  
また、全車両、コネクタにスプラッシュガードキャップを後付けする。

識別：右フロントドアのロウヒンジのボルト(頭)に青ペイントを塗布する。